

ろくろをつかい、椀や盆などの木地をつくる木地師
木地に漆をぬる塗師

職人の智恵と技によって、比類なき高度な漆芸が発達しました。

本シンポジウムでは、木地師や塗師の歴史的・文化的価値と、
木地師の発祥地とされる滋賀県東近江市を起点に全国に広がる
ものづくりのネットワークについて考えます。



木地師と漆

— 未来を紡ぐ伝統文化

2022年9月18日(日)

12:30~16:00

(12:00 受付開始)

入場無料

東京国立博物館 平成館大講堂

会場へは西門から入場し、西門すぐの受付へお越しください。
正門からの入場はできませんのでご注意ください。

《お問い合わせ》

東近江市企画部企画課(滋賀県東近江市八日市緑町10-5)

TEL 0748-24-5610 FAX 0748-24-1457

E-mail kikaku@city.higashiomi.lg.jp

事前申込制

定員350人

申込はこちら→



定員に達し次第締め切ります。ただし、定員は開催時の社会情勢により変更する場合があります。そのため、申し込みいただいた方につきましても、参加できない場合もございます。あらかじめご了承の上、お申し込みください。

【特別協賛】

全国漆器展に関する詳細は **漆器展** で検索!

第57回 全国漆器展 [日本漆器協同組合連合会ほか主催]

2022年9月16日(金)~29日(木) 11:00-19:00

(初日は12:00から/最終日は18:00まで)

伝統工芸青山スクエア (東京メトロ青山一丁目駅徒歩3分)

基調講演 「日本の基層文化としての漆芸」

日本文化を代表する漆芸と日本文化の本質を次世代に伝えることの大切さについてお話しいたします。



三田村 有純 [東京藝術大学名誉教授/日展理事]

昭和24年東京都杉並区久我山出身。20歳で大学を休学し、八代祖父自芳、九代父秀雄より蒔絵を学ぶ。東京藝術大学大学院漆芸専攻修了、研究生を経て母校にて漆の研究・教育にあたり、平成10年にはベルギー王立美術学院に籍を置くなど、欧州の漆文化にも精通する。第52回日本現代工芸美術展内閣総理大臣賞、改組新第1回日展会員賞、改組新第3回日展内閣総理大臣賞、第74回日本藝術院賞など、受賞歴も多数。現在、東京藝術大学名誉教授、日展理事、江戸蒔絵10代継承など、多くの役職を歴任する。中国の大学では名誉院長など、グローバルな立場で精力的に活動している。

パネルディスカッション

木を守り育てる文化、木地師文化が直面する課題と展望、漆器産業の展望等を中心に意見交換を行います。

〈パネリスト(五十音順)〉



小椋 正清 [東近江市市長(滋賀県)]

昭和26年滋賀県東近江市蛭谷町(小椋谷)出身。同志社大学法学部卒業。平成24年滋賀県を退職後、平成25年2月から東近江市市長(現在3期目)。森林資源を見直し、木地師文化の継承と森林文化の大切さを伝えている。全国各地に広がった木地師を保護、統括していた太政大臣藤原(小椋)実秀から数えて第58代目の当主。現在、滋賀県市長会会長



須藤 護 [龍谷大学名誉教授]

昭和20年千葉県出身。これまで、龍谷大学里山学研究センター研究フェローとして愛知川流域の研究や大津市田上の民具調査などに携わる。著書に「木の文化の形成—日本の山野利用と木器の文化」、「暮らしの中の木器—日本人の生活と文化5」など。東近江市にて木地師アーカイブプロジェクトを監修。



土田 直 [日本漆器協同組合連合会理事長]

昭和13年福井県今立郡河和田村(現 鯖江市片山町)出身。塗り立て一級技能士。中学校卒業後、塗師・故 廣瀬武雄氏に師事。昭和37年に丸物塗師として独立し、土田直漆器店を開業。平成17年から越前漆器協同組合理事長として、産地活性化とブランド力の向上に取り組み、平成25年から現職。平成30年春の叙勲にて旭日双光章を受章。漆器産業を未来へつなぐリーダーとして精力的に活動している。



萩原 誠司 [美作市長(岡山県)]

昭和31年岡山県西粟倉村出身。東京大学教養学部教養学科卒業、プリンストン大学大学院修了。昭和55年4月通商産業省へ入省。平成11年から岡山市市長(2期)、平成17年から衆議院議員(1期)。帝京平成大学教授などを経て、平成26年3月から現職(3期目)。荒廃した里山を都市公園として整備するなど、豊かな森林資源を活かしたまちづくりに取り組む。現在、全国市長会相談役

三田村 有純 [基調講演 講演者]

〈コーディネーター〉

筒井 正 [東近江市参与]



【会場注意事項】

- ▶ 会場へは西門から入場し、西門すぐの受付へお越しください。正門からの入場はできませんのでご注意ください。
- ▶ 平成館の「日本の考古・特別展」の見学や本館等での展示を見学する際は、別途チケットの購入が必要です。
- ▶ シンポジウムを行う大講堂での飲食については、フタ付ペットボトルのみ持ち込みが可能です。
- ▶ 発熱や咳き込み等の症状がある方や新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただけない方については参加をご遠慮いただくことがあります。

